

C S Pが、都心の光の祭典「東京ミレナリオ」の警備を担当 寒さよそに連夜、多数の警務士が活躍

師走の東京・丸の内を黄金の光が彩る「東京ミレナリオ」が 昨年 12 月 24 日から元旦未明まで繰り広げられ、その警備のすべてをC S Pと 協力会社が担当しました。

この光の祭典は、日本とイタリア両国政府の合意に基づき、2001年3月から開催されている「日本におけるイタリア 2001年」の公式行事で、今年で3回目です。今回は協力企業にC S Pも名前を連ねました。

「新生-光が夢であるところ」をテーマに、メイン会場の丸の内仲通り 400mに、「光の回廊(ガレリア)」などが出現しました。

この光のページェントも、都心の歳末の風物詩として定着、期間中約 250 万人の観衆で賑わいましたが、今年の警備は初めてC S Pと協力会社で担当しました。

主力となった中央、東京両事業部をはじめ首都圏支社、関連会社のK C Pから、開催期間中、夕方から終了時間まで警務士多数が出動。「C S P」のロゴマークと蛍光塗料の安全ベストを着用、寒さをよそに最寄りの東京駅前から会場一帯を警備、無事に終了しました。



「会場の丸の内仲通りは、今年も黄金の光に
彩られた」



「警務士たちは、師走の寒さの中で連夜、会場の警備に当たった」